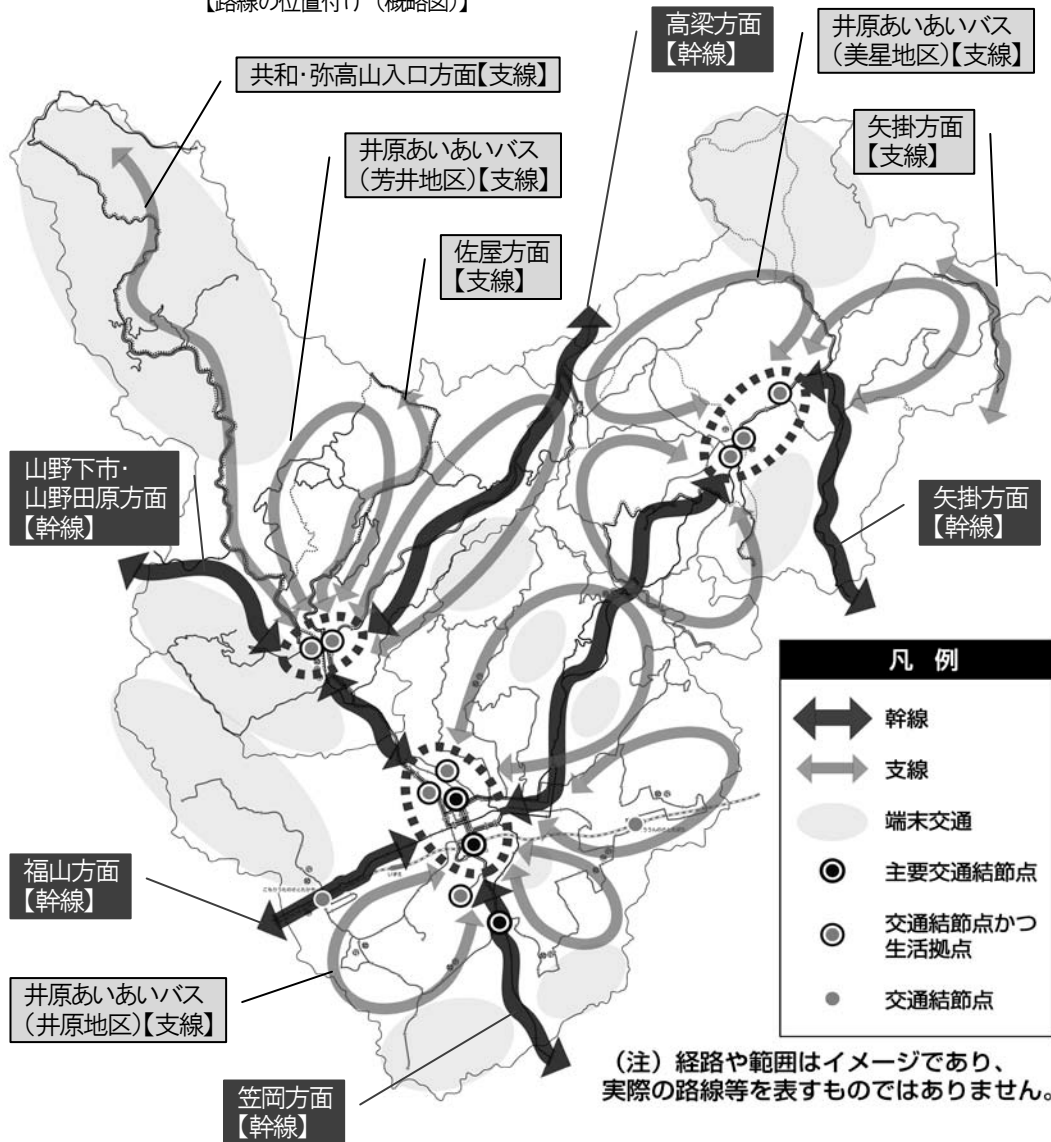


かわら 版

みんなで守り、育て、未来に残そう 地域を支える生活交通



【路線の位置付け（概略図）】



バス路線・ダイヤの見直しについて

井原市地域公共交通総合連携計画に掲げる基本方針・目標に基づき、バス路線・ダイヤの見直しを進めています。今号では、見直しの概要についてお知らせします。

見直しの方針

利用状況調査や発着地・便数などの路線特性を踏まえ、市内の路線を「幹線」、「支線」、「端末交通」に分類し、それぞれの見直し方針を定めました。

幹線

公共交通網の骨格形成及び交通モード間の相互連携を担う路線として、サービス水準や乗り継ぎ利便性の向上を図る。

支線

運行区間・時刻等の見直しにより、地区内の主要施設や支所と集落との間の円滑な移動及び乗り継ぎの実現を目指す。

端末交通

日常生活において誰もが公共交通を利用できるように、地域の実情に応じた運行形態の導入等により、公共交通空白地区の解消を図る。

これらの方針に基づき、平成24年度からの2年間で、路線・ダイヤの見直しを進めていきます。

裏面に見直しの主な内容を紹介しています。

見直しの主な内容

「幹線」、「支線」、「端末交通」のそれぞれの見直しのポイントと主な内容は次のとおりです。

幹線

【見直しのポイント】

- 通勤・通学に便利なダイヤ編成によるサービス水準向上
- 交通結節点における乗り継ぎ利便性向上
- 経路の見直し及び重複区間における輸送効率改善

【主な内容】

- 高校生などの帰宅時間帯の増便や最終便の時刻繰り下げ
- 運行区間や途中経路の変更・統一
- 乗り継ぎを考慮した発着時刻の調整



支線

【見直しのポイント】

- 運行区間の整理
- 生活拠点への移動の確保
- 運行間隔及び運行便数の調整

【主な内容】

- 複数の路線が運行されている区間における続行運行の解消
- 平日の日中や休日における運行便数の調整や運行形態の変更

端末交通

【見直しのポイント】

- 幹線・支線とのスムーズな乗り継ぎの実現
- 地域の実情や利用動向にに応じた運行形態の導入
- 公共交通空白地区の解消

【主な内容】

- 幹線・支線の見直しにあわせて接続の改善
- 予約型乗合タクシーの運行拡大（新規・バス運行区間見直しによる代替）

今後は、井原市公共交通会議において具体的なダイヤなどの検討を行い、第一弾として平成24年秋からの実施を目指します。今後の取り組み状況も、この「かわら版」でお知らせしていきます。

利用促進に向けた取り組み

1 ジーンズバス・列車の運行開始

井原市公共交通会議では、公共交通の利用をPRすることを目的に、一般路線バスと井原線にジーンズのラッピングを行いました。2月1日から井原線1両で運行を始めています。

バスには「さあーバスに乗って出かけよう」、井原線には「さあー井原線で出かけよう。」のキャッチフレーズを入れ、かわいらしいキャラクターとともに、公共交通の利用促進を呼びかけています。



2 「バス体験学習会」におけるジーンズバスの活用

2月7日に高屋小学校で開催した「バス体験学習会」にはジーンズバスを使用しました。参加した小学生からは、大きな歓声があがりました。

ジーンズバス・列車の運行を機会に、多くの方に公共交通に関心を持っていただき、そして利用していただければと願っています。

